

【証券コード：6728】

# 決算説明資料

2019年度（FY2019）

第3四半期（累計）（2019年7月～2020年3月）

2020年5月14日

株式会社 アルバック

## ◆将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるFPD（フラット・パネル・ディスプレイ）・半導体・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

## ◆本資料における表示方法について

（特段の記載がない限り、数値はすべて連結ベースです）

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現：

2Q（累計）： 第2四半期連結累計期間

2Q： 第2四半期連結会計期間

## □ 受注高 1,193億円（前年同期比▲31%）

- 3Qは1・2Q比回復したが、前年同期比（累計）ではFPD関連の投資延期等により大幅減少

## □ 売上高 1,425億円（前年同期比▲16%）

- 前年同期比減少（新型コロナウイルスの影響等もあり、下期予想比進捗低い）

## □ 営業利益 132億円（前年同期比▲40%）

- 売上高低下により、前年同期比減少

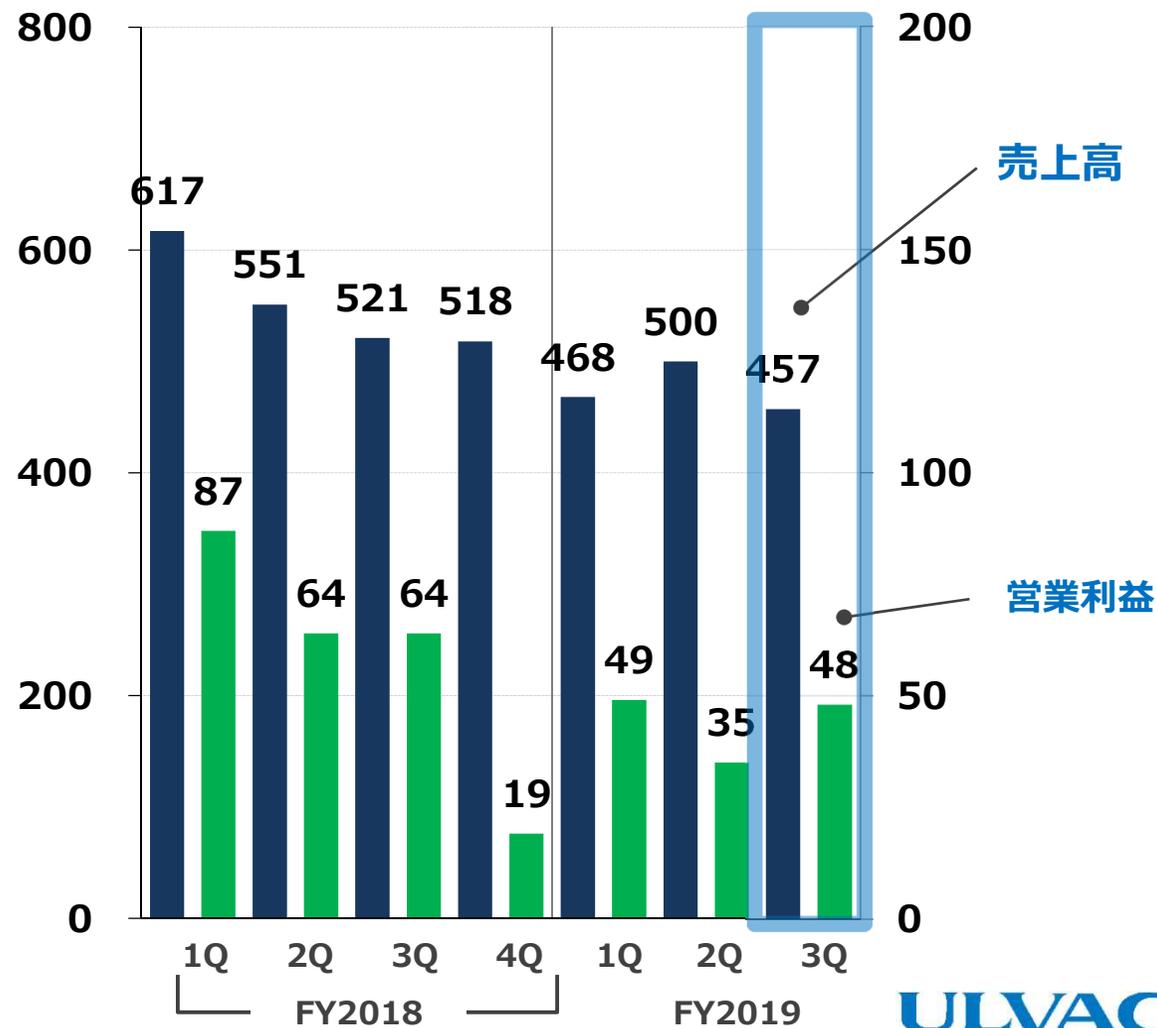
## □ 2019年度（2020年6月期）の業績を修正

# 2019年度3Q（累計）連結業績概要

- 受注高：3Qは1・2Q比回復したが、前年同期比（累計）ではFPD関連の投資延期等により大幅減少
- 売上高：FPD・コンポーネントなど前年同期比減少（新型コロナウイルスの影響等もあり、下期予想比進捗低い）
- 営業利益：売上高低下により、前年同期比減少

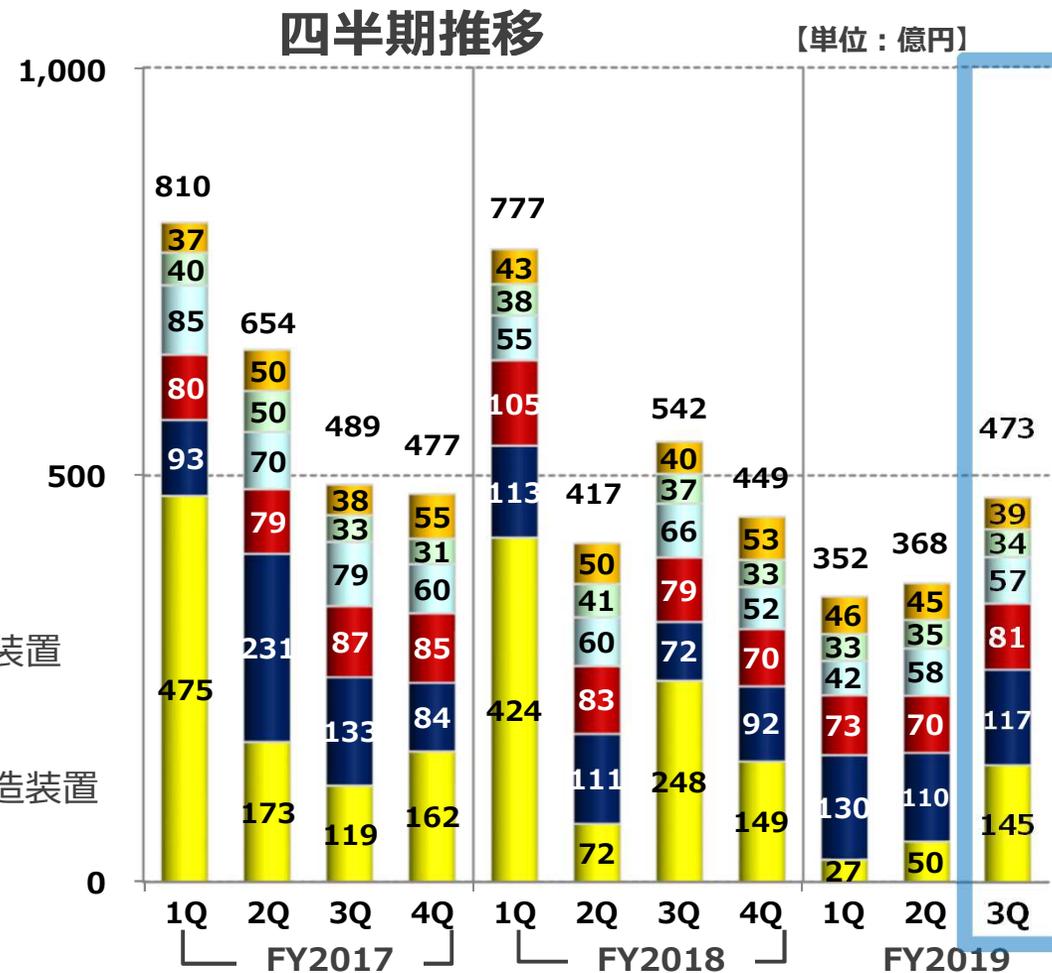
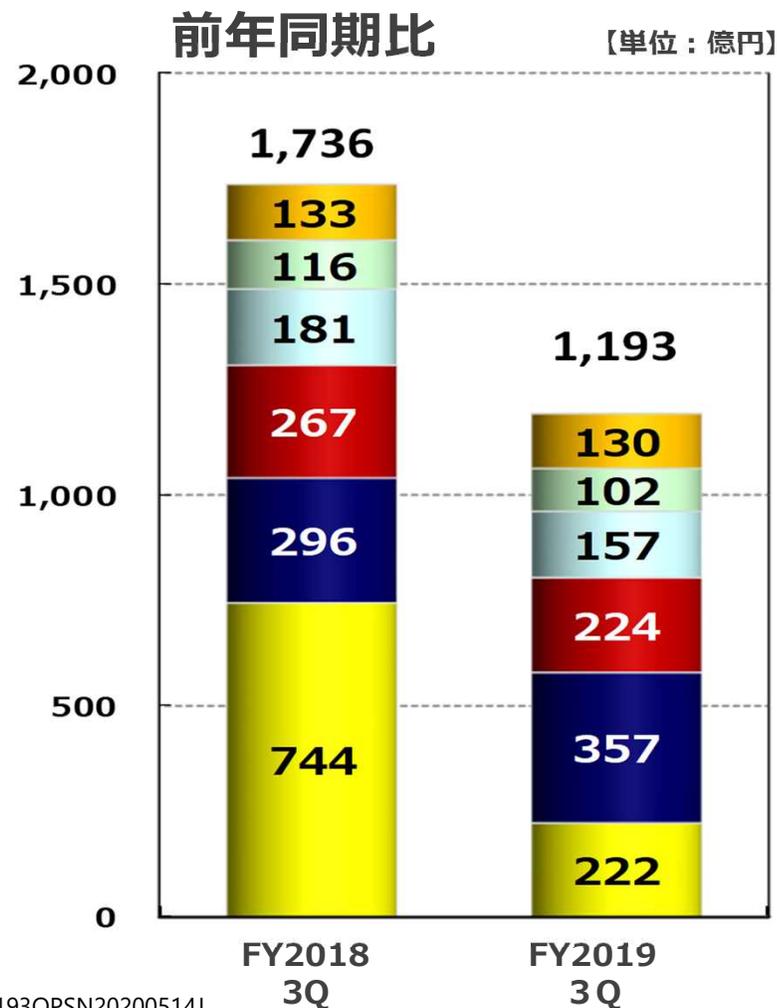
【単位：億円】	2018年度		2019年度	
	3Q（累計）実績	3Q（累計）実績	対前年同期増減率	
受注高	1,736	<b>1,193</b>	-31.3%	
売上高	1,689	<b>1,425</b>	-15.6%	
売上総利益	506	<b>394</b>	-22.1%	
率	29.9%	<b>27.6%</b>	- 2.3 pt	
販管費	286	<b>262</b>	-8.5%	
営業利益	219	<b>132</b>	-39.8%	
率	13.0%	<b>9.3%</b>	- 3.7 pt	
経常利益	231	<b>151</b>	-35.0%	
率	13.7%	<b>10.6%</b>	- 3.1 pt	
親会社株主に帰属する当期純利益	173	<b>110</b>	-36.4%	
率	10.2%	<b>7.7%</b>	- 2.5 pt	

【単位：億円】 売上高と営業利益の推移（四半期毎）



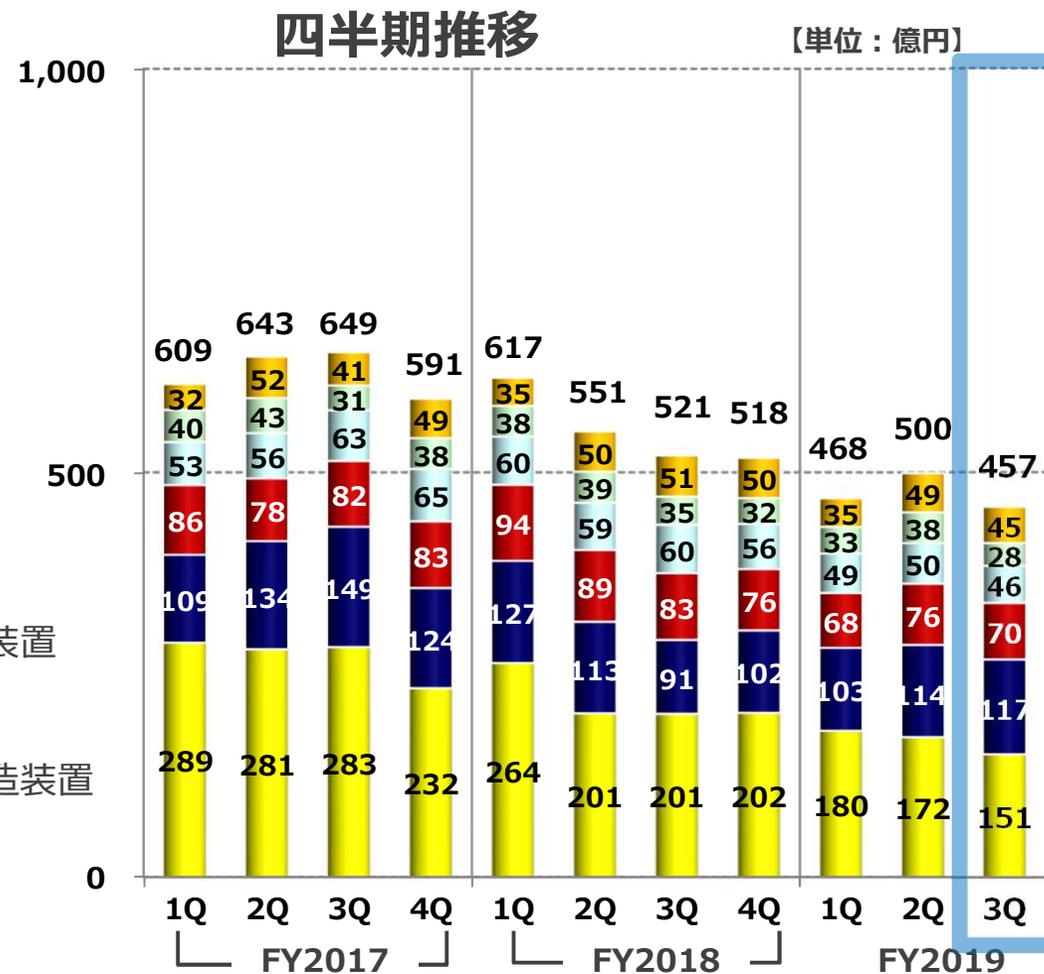
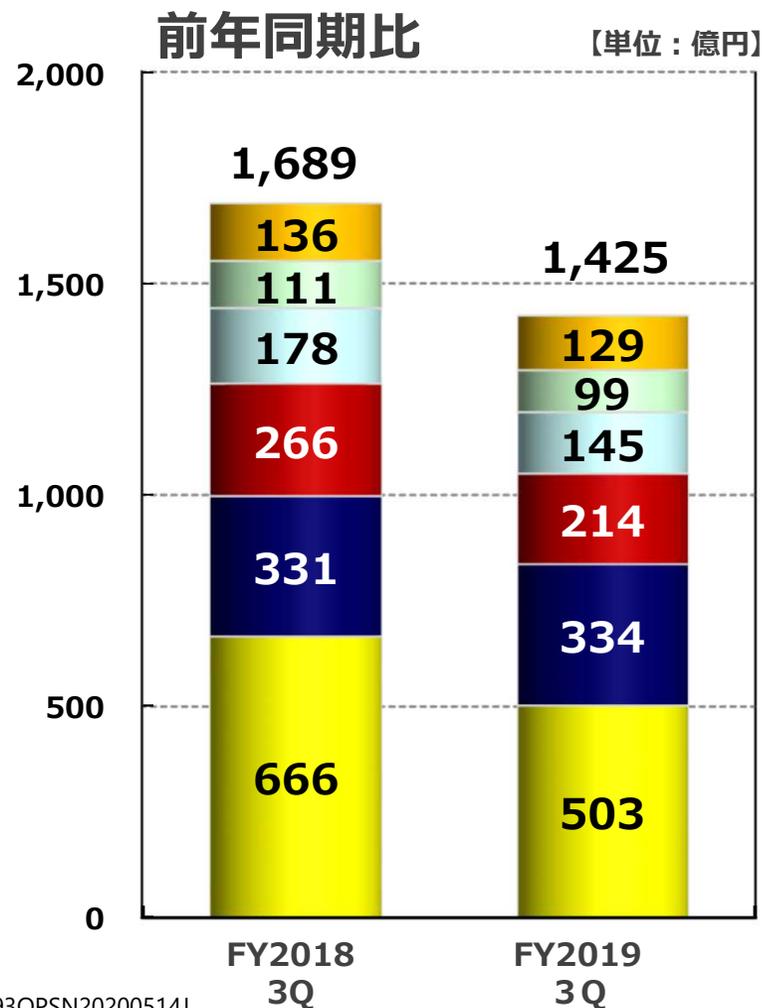
# 2019年度3Q（累計）連結業績概要（品目別受注高）

- FPD・PV製造装置：3Qは1・2Q比回復したが、前年同期比（累計）では、大型TV用LCD商談一巡、スマートフォン用OLED投資延期等により大幅減少
- 半導体・電子部品製造装置：半導体投資回復に遅れが見られるも、電子関連は引き続き堅調で、前年同期比増加



# 2019年度3Q（累計）連結業績概要（品目別売上高）

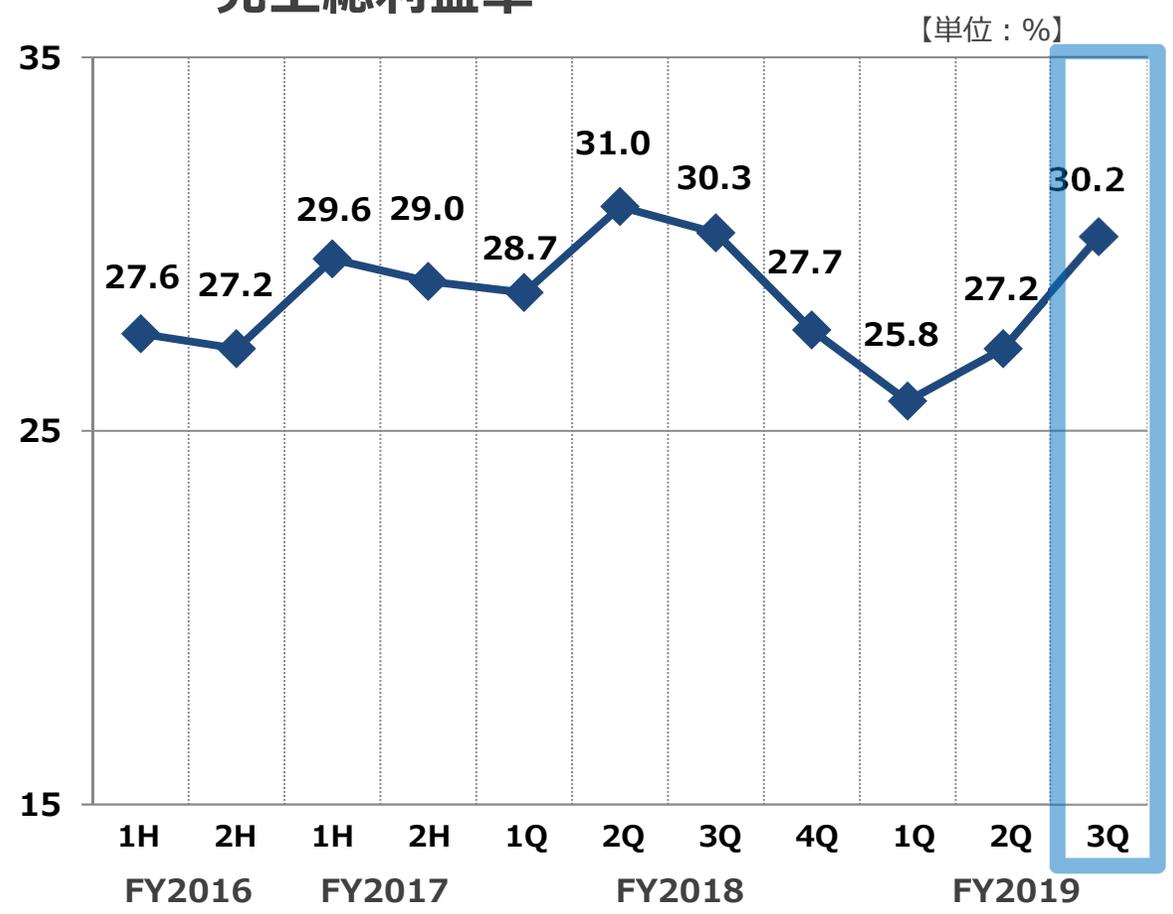
・ FPD・PV製造装置：期初受注残高が相当水準あったことから、売上高減少は限定的



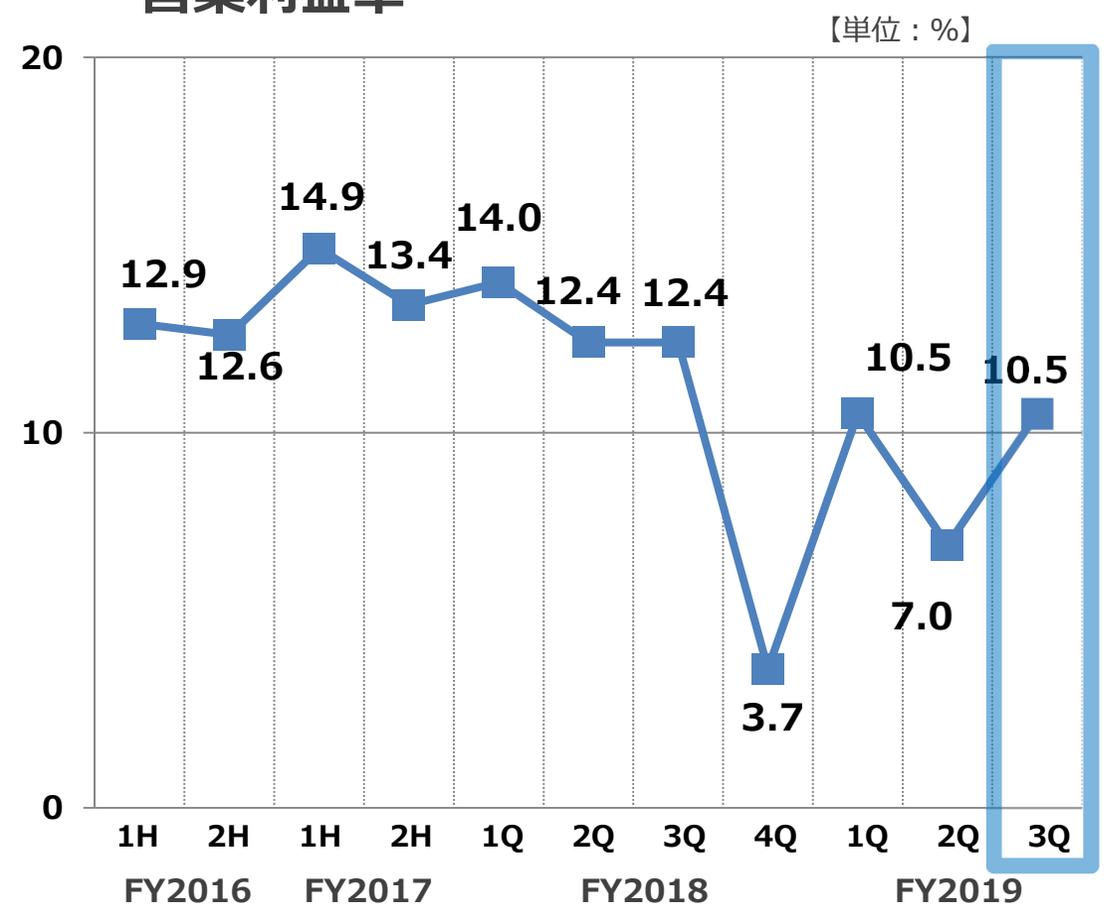
# 2019年度3Q 連結業績概要 (利益率)

- 売上総利益率・営業利益率ともに高水準

## 売上総利益率

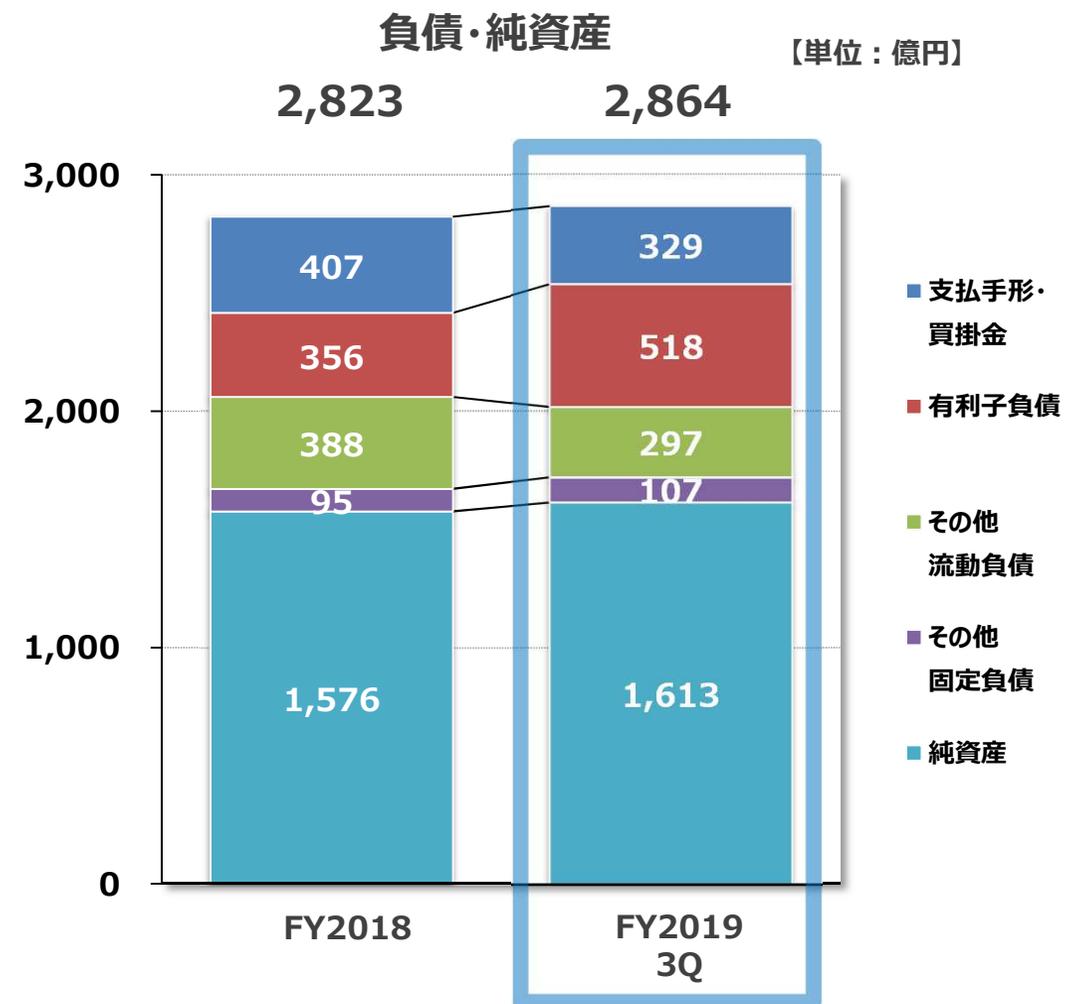
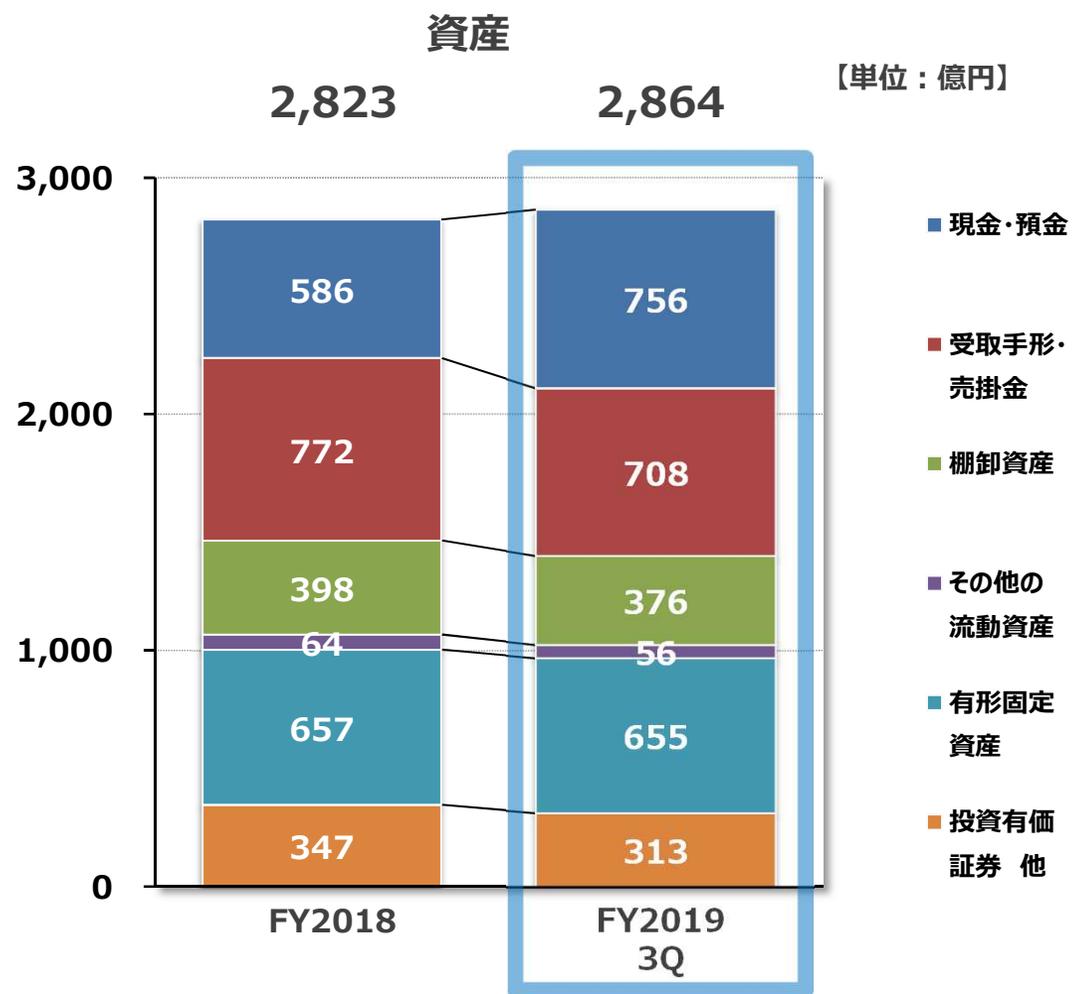


## 営業利益率



# 2019年度3Q 連結業績概要 (連結貸借対照表)

- ・ 現金・預金170億円増加、有利子負債163億円増加
- ・ 純資産37億円増加、自己資本比率54.0%



# 2019年度通期業績予想の修正

- ・新型コロナウイルスの影響等により、受注高・売上高・営業利益の減少が見込まれることから、売上高および各利益項目を下方修正

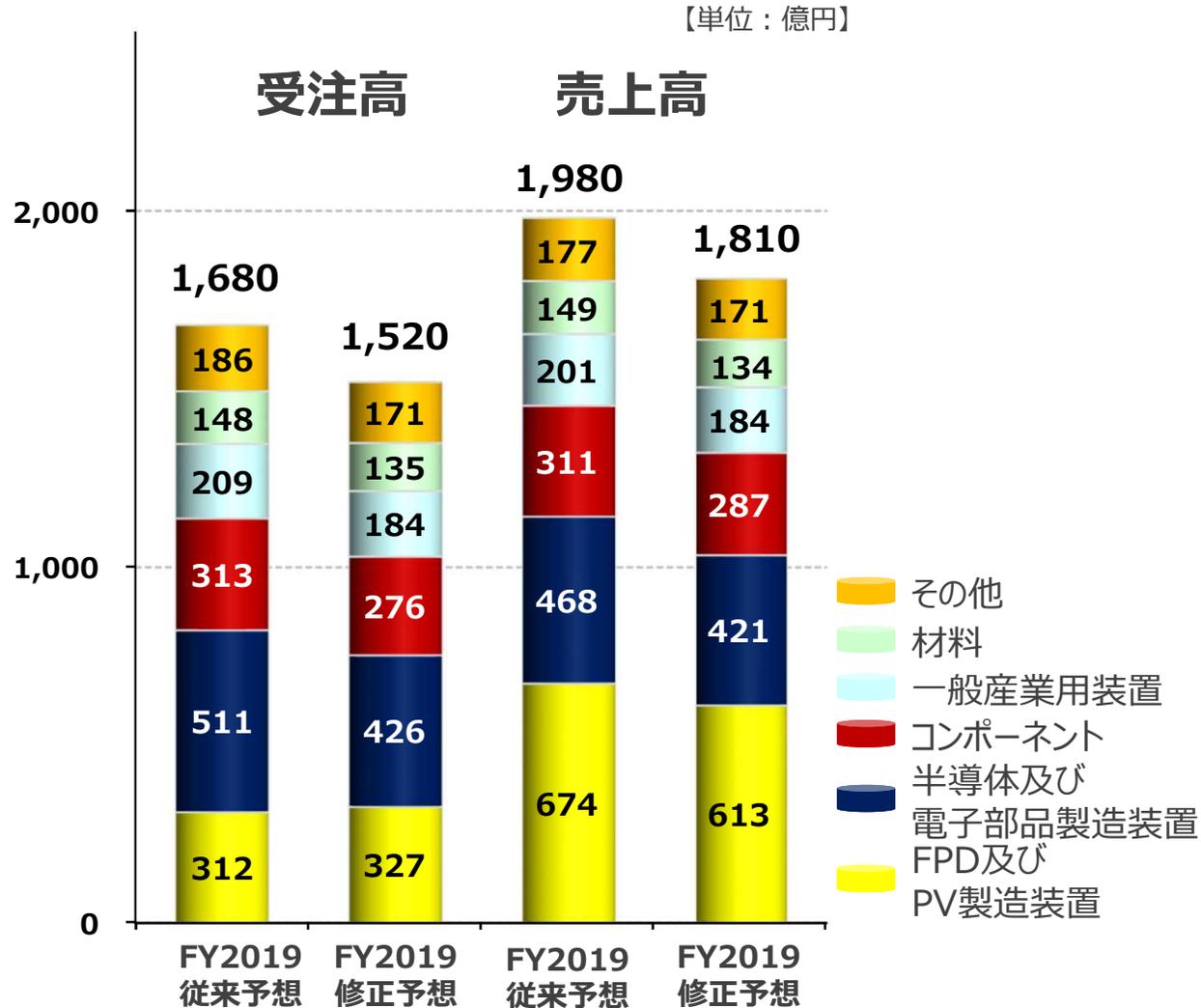
【単位：億円】

	(参考) 2018年度 通期実績	2019年度				2019年度	
		3Q累計 実績	従来予想*	通期 修正予想	従来予想比 (差異・増減%)	上期実績	下期修正予想
受注高	2,185	<b>1,193</b>	1,680	<b>1,520</b>	-160 -9.5%	720	<b>800</b>
売上高	2,207	<b>1,425</b>	1,980	<b>1,810</b>	-170 -8.6%	967	<b>843</b>
営業利益	238	<b>132</b>	150	<b>120</b>	-30 -20.0%	84	<b>36</b>
率	10.8%	<b>9.3%</b>	7.6%	<b>6.6%</b>	- 0.9 pt	8.7%	<b>4.3%</b>
経常利益	256	<b>151</b>	166	<b>140</b>	-26 -15.7%	99	<b>41</b>
率	11.6%	<b>10.6%</b>	8.4%	<b>7.7%</b>	- 0.6 pt	10.3%	<b>4.9%</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	187	<b>110</b>	108	<b>105</b>	-3 -2.8%	78	<b>27</b>
率	8.5%	<b>7.7%</b>	5.5%	<b>5.8%</b>	+ 0.3 pt	8.0%	<b>3.2%</b>

※2020年2月13日公表値

# 2019年度通期業績予想の修正

・新型コロナウイルスの影響等により、受注高・売上高ともに通期予想を下方修正



## 【新型コロナウイルスの影響】

### 受注高減少

- (主な要因)
- ・訪問面談（商談）できない
  - ・他社装置の調達遅れ、投資計画延期
  - ・客先工場の稼働低下

### 売上高減少

- (主な要因)
- ・受注延期の影響
  - ・インストール・検収の延期
  - ・客先工場の稼働低下

## 【基本方針】

- ・アルバックグループ従業員、家族、取引先など関係者の安全・健康を第一とし、感染防止に向けた施策を実施する
- ・お客様への供給責任を果たす

## 【生産・開発体制】

- ・生産・開発拠点は、各国政府、地方自治体の方針に従い、感染防止対策を徹底した上で業務継続
- ・物流、調達など大きな問題は発生していない。事業継続に必要な対策実施中
- ・すでに構築している**4極生産・開発体制（日本、韓国、台湾、中国）**により、万一感染で工場や開発現場が閉鎖となった場合でも、他拠点で代替生産・開発可能

# 主要生産・開発拠点の状況

- ・主要生産・開発拠点、業務継続中。サプライチェーンに大きな影響なし
- ・4極生産・開発体制で運営、相互にカバーする体制で影響は軽微

## 米国【操業再開予定】

- ・ボストン(半導体及び電子部品製造装置)

## 韓国【操業中、生産、調達に影響なし】

- ・主な生産拠点  
平澤 (半導体及び電子部品製造装置、FPD製造装置、コンポーネント等)

- ・主な開発拠点  
平澤

## 中国【全工場操業再開】

- ・主な生産拠点  
蘇州：電子部品製造装置、FPD製造装置  
成都、瀋陽：一般産業用装置  
寧波：コンポーネント

- ・主な開発拠点  
北京、蘇州

## 日本【操業中、生産、調達に影響なし】

- ・主な生産拠点  
茅ヶ崎、裾野、富里、鹿児島、八戸、宮崎

- ・主な開発拠点  
茅ヶ崎、裾野、富里

## 台湾【操業中、生産、調達に影響なし】

- ・主な生産拠点  
台南 (半導体及び電子部品製造装置、FPD製造装置等)

- ・主な開発拠点  
新竹

## 経営改革を推進することにより、経営基盤を強化する

### 1. 成長事業

スマート化社会実現のための技術革新を支える商品・技術で、半導体・電子ビジネスを拡大。コンポーネントビジネスの強化

### 2. 研究開発力強化

技術センシング機能強化及び経営資源を集中させるために開発部署を統合し、成長市場の技術革新に対応した商品開発を強化

### 3. モノづくり力強化

技術、設計から生産体制までの全ての工程における生産改革の推進

### 4. グループ経営効率強化

グループにおけるプラットフォームの整備及び経営一体化を推進

# トピックス 企業価値向上への取り組み

## グループ会社も含め、「健康経営優良法人2020」認定

株式会社アルバック（3年連続）：  
「健康経営優良法人2020（ホワイト500）」大規模法人部門に認定

アルバック販売株式会社（2年連続）：  
アルバック・ファイ株式会社：  
アルバックテクノ株式会社：  
アルバックヒューマンリレーションズ株式会社：  
「健康経営優良法人2020」中小規模法人部門に認定

「夢があって、仕事が楽しく、職場に行くのが楽しくなる」状態を目指し、「人間力の向上」を目標に、社長、健康推進責任者の役員、総務・人事部長、産業医、保健師が一体となって健康経営を推進していく



2020年3月に神奈川県政策局主催の「マイME-BYOカルテ」企業対応ウォーキングにおいて、株式会社アルバックは「神奈川県知事賞」として表彰

## GPIFの国内運用機関が選ぶ 「改善度の高い統合報告書」上位ランクイン (3年連続)

ULVAC

真空

アルバックバリューレポート

ULVAC  
VALUE REPORT

2019

ULTIMATE  
IN VACUUM



(日本語版)



(For English)

引き続き、ハイ・クォリティーかつ分かりやすい情報開示  
に取り組んでいく

# さまざまな業界・用途で貢献するアルバックの真空技術



**Automobile**  
自動車



**Semiconductor**  
半導体



**Flat Panel Display**  
フラットパネルテレビ



**Photovoltaic**  
太陽電池



**Food Processing**  
食品



**Aircraft**  
航空



**Bio**  
バイオ



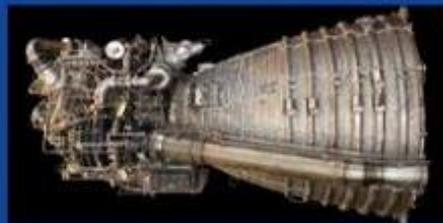
**Smart Phone**  
スマートフォン



**Magnetic Device**  
磁気デバイス



**Home Appliance**  
家電製品



**Aerospace**  
宇宙産業



**Pharmaceutical**  
医療・薬剤



**Wearable/VR**  
ウェアラブル/VR



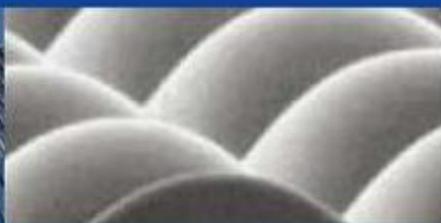
**Power Device**  
パワーデバイス



**MEMS Device**  
MEMS デバイス



**Architectural Glass**  
建材・スマートガラス



**Optical**  
光学



**Flexible**  
フレキシブル



**Packaging Materials**  
パッケージング



**Next Generation Light**  
次世代照明

真空テクノロジーで  
「つくる」をつくる

**ULVAC**